セラール® 施工説明書
タイル下地用

◎ この施工方法は、厚み3㎜のセラール限定となります。
◎ 施工前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
◎ 同梱の取扱説明書は必ずお施主様にお渡しください。
◎ 施工される前に品番及び輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。
◎ 当製品は建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工してください。
◎ セラールは環境の変化により伸び縮みがあります。必ず標準工法、注意事項に従って施工してください。
◎ 当製品は浴室用途や水を大量に使用する施設の壁面には使用できません。
浴室用途や水を大量に使用する施設の壁面への施工は"セラールバスルーム壁・天井用"をご使用ください。
◎ セラールは品番ラベルの貼付面が表面です。
◎ 湿気を帯びた下地、施工後に湿気を帯びる可能性のある下地や、高温度・高湿度になる場所には
施工しないでください。(剥がれや浮きの原因となります)
◎ 搬入時、現場内での運搬はセラールがたわむため、2人以上で作業を行ってください。
◎ タイル下地面以外への施工の際は、セラール施工説明書一般下地用をご参照ください。
◎ 5℃以下の環境では施工しないでください。(接着剤の硬化不良の恐れがあります)
◎ 施工中、施工後の養生期間には換気を行ってください。
◎ 専用接着剤、抗菌防カビシリコーン、専用プライマー、補修材については、それぞれのMSDSにて詳細な安全情報をご確認ください。
◎ 本製品は、事業者を対象とした業務用製品ですので、廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください
(セラール/廃プラスチック、保護フィルム/廃プラスチック、段ボールケース等/紙類)。

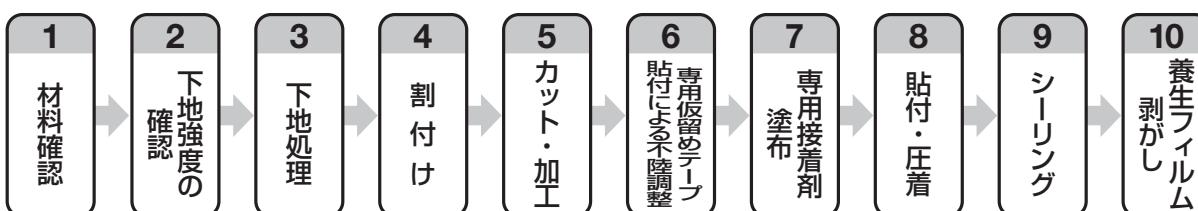
⚠ 安全についてのご注意

下記の注意事項は、ケガや事故を事前に防止するためのものですので、必ずお守りください。

注意事項	想定される危険性
●**指定の専用仮留めテープ・専用接着剤以外は使用しないでください。** ●下地施工は材料メーカーが指定する方法を厳守してください。	剥がれによる落下の恐れ
●家庭用加熱調理機器とセラール表面とは十分な距離を離してください。詳細については本紙4ページをご参照ください。 ●業務用加熱調理機器の場合は、家庭用に比べ熱量が極端に高く、近接する部位にはご使用できません。	表面変色の恐れ
●運搬・作業時には滑り止めの手袋を着用するとともに、加工時に粉じんが発生するため、保護マスク・保護メガネを着用してください。尚、防じん丸のこを使用し、換気を良くして作業を行ってください。もし、粉じんが皮膚についたり、目・鼻・口に入った場合は、速やかに水で十分洗い流してください。また、異常を感じたら、直ちに医師の手当てを受けてください。 ●カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパーで面取りをしてください。 ●使用する専用接着剤・専用プライマーには有機溶剤が含まれているものがありますので、使用時には十分換気するとともに、火気に十分ご注意ください。	怪我もしくは健康障害を生ずる恐れ

施工の手順

1 材料確認 → 2 下地強度の確認 → 3 下地処理 → 4 割付け → 5 カット・加工 → 6 専用仮留めテープ貼付による不陸調整 → 7 専用接着剤塗布 → 8 貼付・圧着 → 9 シーリング → 10 養生フィルム剥がし

(8→10 養生(2日間))

商品仕様

品名	サイズ（㎜）	梱包入り数
セラール	3×9：t3×935×2,755	1枚/梱包（一部標準在庫）
	3×8：t3×935×2,455	2枚/梱包
	3×6：t3×935×1,855	2枚/梱包（一部標準在庫）

別売り施工部材			サイズ・容量	標準施工量	梱包入り数
専用仮留めテープ（不陸0〜3㎜未満の場合）		厚み1㎜	巾20㎜ ×10m/巻	1巻→3×8サイズ 1枚分（不陸0㎜基準）	5巻・40巻
専用仮留めテープ（不陸3〜5㎜未満の場合）		厚み3㎜	巾20㎜ ×200㎜/本	3〜5㎜未満の不陸調整用	200本・400本
専用接着剤 ※1		アイカエコエコボンド SE-1（一液型）	333㎖/本	2本→3×8サイズ 1枚分（不陸2㎜基準※2）	20本/ケース
抗菌・防カビシリコーン（JK-57□）			320㎖/本	1本→12m〜15m分	10本/ケース×2
専用プライマー ※2		溶剤系（JW-900N）	1kg/缶	1kg→3×8サイズ 3〜4枚分	2缶/ケース
		水系（RA-900）	2kg/缶	2kg→3×8サイズ 9〜11枚分	1缶/ケース
補助部材（標準品）	アルミ	平目地	L=3,075 ㎜	ー	2本・20本/ケース
		見切・入隅	L=3,075 ㎜	ー	2本・20本/ケース
		出隅	L=3,075 ㎜	ー	2本・20本/ケース
		入隅	L=3,075 ㎜	ー	2本・20本/ケース
		化粧出隅	出隅部角度 90° L=2,430 ㎜	ー	2本・5本/ケース
			出隅部角度 135° L=2,430 ㎜	ー	受注生産
		アルミハット型ジョイナー	L=3,075 ㎜	ー	2本・20本/ケース
	ABS	平目地	L=3,075 ㎜	ー	2本・20本/ケース
		見切・入隅	L=3,075 ㎜	ー	2本・20本/ケース
		水平見切	L=3,075 ㎜	ー	2本・20本/ケース
		出隅	L=3,075 ㎜	ー	2本・20本/ケース
	サニタリー専用巾木		L=2,100 ㎜	ー	4本/ケース
	専用チップソー（ZK-9）		外径165㎜、刃数72	ー	1枚

専用接着剤SE-1、抗菌防カビシリコーンJK-57□（□は色品番）、専用プライマーJW-900N・RA-900はF☆☆☆☆です。

※1. 専用接着剤はSE-1（一液型 変成シリコーン系接着剤）以外に、SE-74（2液型 エポキシ系接着剤）も別途ご用意しております。

※2. 不陸が大きい場合、接着剤の使用量は多くなります。

※3. プライマーの詳細は、5ページの「割付け・プライマー下地処理」でご確認ください。

下地がモルタル面・ケイカル板・ラワン合板の場合にプライマー処理が必要です。タイル面はプライマー処理は不要です。

加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起こらないように刃物は新しいものをお選びください。

① 切断加工

防じん丸のこ（チップソー・ダイヤモンドソー）

施工時における切断用刃物について

刃物の規格は**「外径」「刃厚」「刃数」**よりなっています。
「外径」「刃厚」はお手元のハンディソーに合ったものをご使用ください。
「刃数」はできるだけ多いものをご使用ください。

専用チップソー	ZK-9A（φ100×1.1mm×60P）、ZK-9B（φ125×1.1mm×80P）、ZK-9（φ165×1.6mm×72P）

② 穴あけ加工

ドリル、ホールソー、ルーター、トリマー

③ 仕 上 げ

サンドペーパー、ヤスリ、デコラカンナ

施工前の確認

1 下地の確認 重要

まずはセラールの施工が可能かどうか確認ください。

下地の状態のチェック

不陸(凹)
直定規
下げ振り
横方向
縦方向

❶ タイル表面が汚れている場合

対処方法 清掃 タイル表面の汚れを充分に除去してください。

❷ タイル表面の不陸の有無

◎右図のように直定規・下げ振り・レーザーレベル等を用いて壁面の水平・垂直の不陸を測定してください。
※現下地で施工可能な**最大不陸は5㎜未満(目安)**です。5㎜を超える場合は、下地を作成してください。
※タイル表面の不陸調整は仮留めテープの貼り増しで行ってください。タイル表面にはプライマーは塗布しないでください。

対処方法 下地作成 タイルと付着強度が良好な薄塗りできるモルタルで不陸調整を行うか、6㎜以上のケイカル板（比重1.0）または、9㎜以上のラワン合板で下地を作成してください。
※モルタル：含水率4.5%以下・付着強度1.0N/㎟、平滑な金ゴテ仕上
※ケイカル板、ラワン合板：必ず躯体にビス固定してください。

❸ 表面タイルの浮きの有無

◎古いタイル壁面では浮き・剥がれの危険が高いため、右図のように打診検査（テストハンマーでタイル表面を叩きタイルの異常音を音で判断）でタイルの浮きを調べてください。浮いたり剥がれたタイルは下記の方法での補修をお薦めします。

対処方法 モルタルの充填又は全面打設

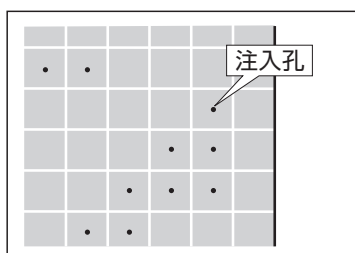
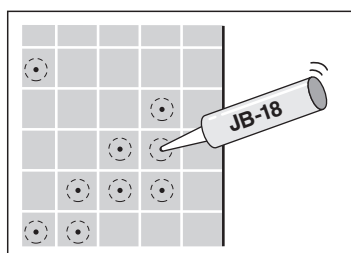
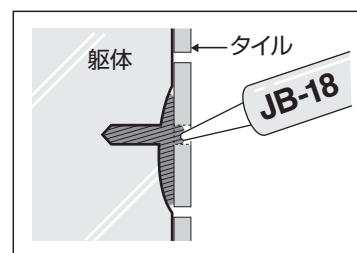
比較的小規模なタイル剥離から全面タイルはつりの補修まで巾広い対応が可能です。躯体（コンクリート・ブロック）とモルタルとの密着が悪いと剥離の原因になりますので注意してください。

含水率4.5%以下・付着強度1.0N/㎟・平滑な金ゴテ仕上、不陸2㎜以下

比較的小規模なタイル剥離については剥離部分に充填補修用のエポキシ樹脂モルタルを充填してください。

アイカ商品
ジョリシールJB-18L（プライマー・タックコート）とJE-9001（専用骨材）
又はSE-74（2液型・エポキシ系接着剤）

対処方法 ピンニングによる樹脂注入固定 アイカ商品 ジョリシールJB-18

下図のようにエポキシ樹脂等を浮きのあるタイル部分に注入して、浮き部分の剥離・剥落を防止します。

コンクリートドリルにて浮きのあるタイルの中央に1箇所、躯体に達するように穴をあけます。
穴の内側を十分に清掃してください。

JB-18をグリスガンにて穴の最深部より充填していきタイル表面と同じレベルになるまで充填します。
樹脂が固まった後、再度打診検査を行い充填状況を確認します。

注入量=25~30g/1穴

●下地の作製にあたっては建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って作製してください。

その他、下地についての詳細は別途お問い合わせください

2 貼付壁の確認

キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。また、セラール表面への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。

ビルトインタイプコンロの場合

●**コンロの側面**からセラールの表面まで15cm以上離してください。15cm以上離せない場合、コンロの熱により変色やコゲが発生する場合がありますのでステンレスパネル（ZK-8等）を使用してください。（変色やコゲが発生しても不燃性能には影響ありません。）

●グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65cm未満のカウンターで使用する場合はステンレスパネルを使用してください。

●奥行き65cm以上のカウンターで使用する場合もコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合はステンレスパネルを使用してください。

据え置きタイプコンロの場合

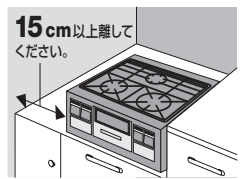
●据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15cm以上離せない場合（側面、背面）はステンレスパネル（ZK-8等）を使用してください。ステンレスパネルの施工説明書に従って壁面との距離を必ず取ってください。

※ステンレスパネルを使用する際は、各自治体の火災予防条例等により規制されることがあります。確認の上、使用ください。また、規制に従った構造としてください。

※以上の条件を満たしても直接炎がセラールに当たらないようにご注意ください。

※コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規制されます。規制に従った構造としてください。

※業務用のコンロや調理機器に近接する部位には使用しないでください。

※加熱された鍋類が直接セラールに触れる事が無いようにしてください。

3 納まりの確認

①ジョイナー部納まり

（単位：㎜）

●ジョイナー納まりの場合は、セラールがジョイナー内で突付けにならない様スキ間を取って施工してください。また、ジョイナーは接着剤等を用いて、しっかりと固定してください。

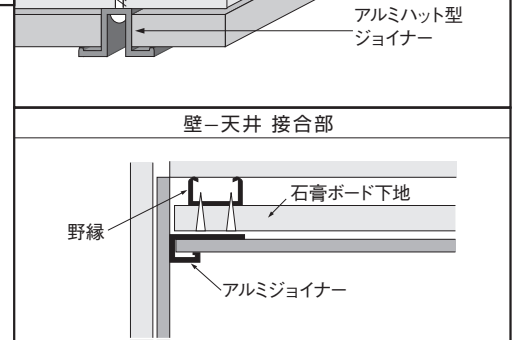
●水廻りにて施工する場合、必ずジョイナーの中にシリコーンを注入して施工してください。

②シーリング部納まり ③目透かし部納まり ④天井部納まり

注①：目透かし納まりの場合、目地底テープの巾は20mmをご使用ください。
目地底テープの巾が広い場合、接着不良となる可能性があります。

●天井部への施工には、落下の危険性がありますので、アルミハット型ジョイナーを必ず使用してください。

●セラールを天井に施工する場合は、**3尺×4尺サイズ（910㎜×1220㎜）以下**にカットして、使用してください。

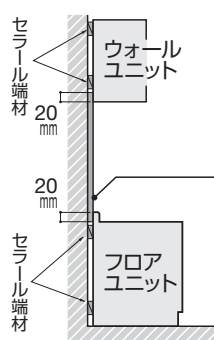
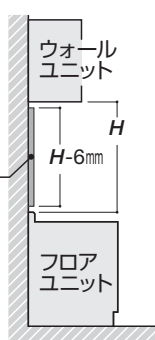
●セラールを**突き付け施工しないでください。**高湿度下でセラールが伸び、突き上げを生じたり、低湿度下で収縮して、すき間を生じたりする場合があります。

施工方法

1 割付け・プライマー下地処理

下記の注意事項を遵守して割付け・下地処理を行ってください。

割付け時の注意点

- ケイカル板、ラワン合板下地の場合、下地材の目地とセラールの目地が重ならないように、割付けてください。
- セラールで突きつけ施工はできません。シリコーン・目透かしで施工される場合、必ず3mm以上の目地を取ってください。ジョイナーで施工される場合も、必ずクリアランスを取ってください。
- 開口部の位置及び外観を考慮して、端材が少なくなるように割付けてください。

◎キッチンで使用する場合

- パネル先付け納まりの場合、吊り棚・天板へ20mm呑み込ませて割付けてください。また、パネル後付け納まりの場合、吊り棚・天板とのチリ3mmを取って割付けてください。

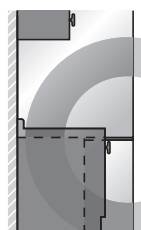
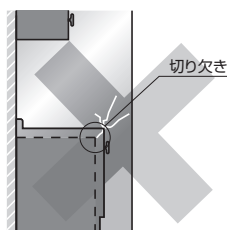
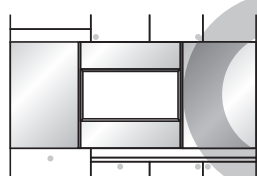
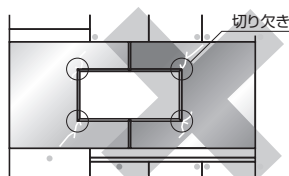
下地材がモルタル面・ケイカル板・ラワン合板の場合

セラールを貼付ける部分の全面に予めプライマー（アイカ アイボン JW-900N又はRA-900）を塗布してください。

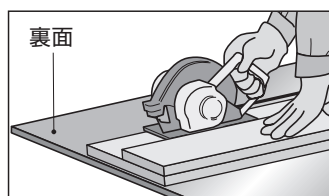
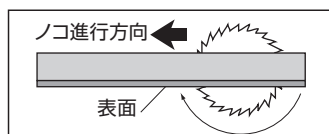
■標準塗布量：JW-900N　1kg→3×8サイズ3〜4枚分
RA-900　2kg→3×8サイズ9〜11枚分

ご注意

- タイル面には、プライマーを塗布しないでください。
- プライマー（アイカ アイボン JW-900N、RA-900）は薄めずに、そのままご使用ください。
- プライマー（アイカ アイボン JW-900N：溶剤系）塗布後、**4時間から7日以内**にセラールを貼付けてください。JW-900Nはトルエン・キシレンを含んでおりませんが、ご使用の際には十分に換気を行ってください。
- プライマー（アイカ アイボン RA-900：水系）は、冬期24時間、春秋期12時間、夏期6時間以上を目安に乾燥させてから20日以内にセラールを貼付けてください。環境により乾燥状況が異なりますので、必ず乾いた事を確認してから、次の工程へ進んでください。　※ 5℃以上でご使用ください。

◎切り欠き部がある場合

- 上図のような**切り欠き部**が大きい場合、クラック発生の恐れがあります。
（上図のような場合、切り欠きではなく、複数枚を使用する割付けとしてください。）

2 カット・加工

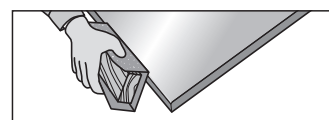
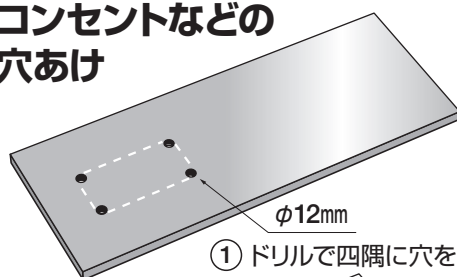
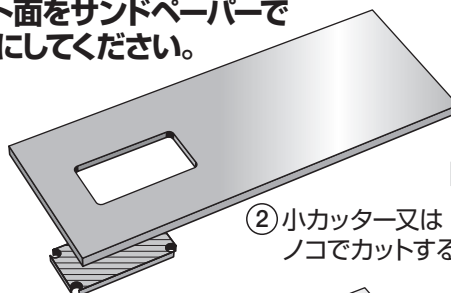
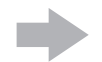
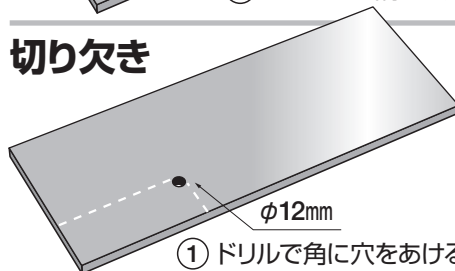
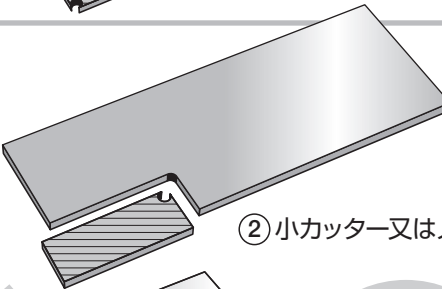
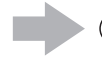
下記の注意事項を遵守してカット・穴あけ・切り欠きを行ってください。

カットする時の注意点

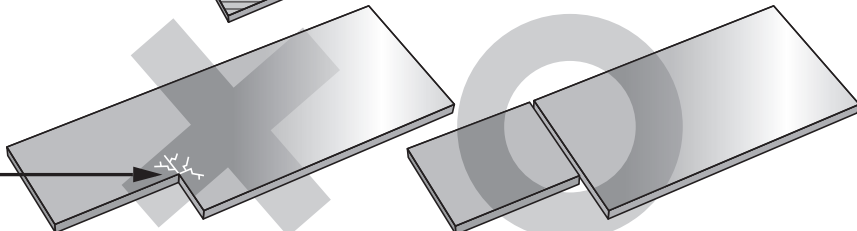
- 切断は硬質断熱材などの上に置き、当木を用いて、必ず刃物を**表面**から入れて裏面から出るようにしてください。(表面には保護フィルムが貼ってあります)
- 保護フィルムが付いていますが、取り扱いには充分ご注意ください。

面取り方法

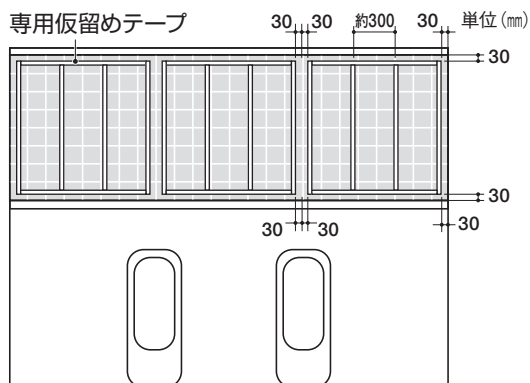
- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて**軽く糸面取り**してください。
- 目透かし・シーリング納めの場合、カットしていない面も**軽く糸面取り**してください。

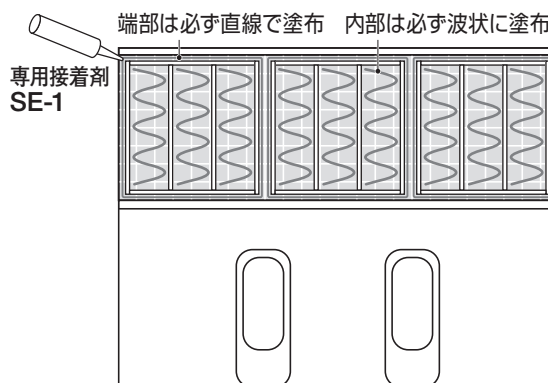
穴あけ・切り欠きの注意点

●穴あけ・切り欠きは必ず**12φ以上**の刃物を用いて、**表面**からコーナー部に穴をあけてから行ってください。
●カット後のバリ・カケは、**クラックの原因**となる場合があります。**カット面をサンドペーパーで平滑にしてください。**

コンセントなどの穴あけ

φ12㎜
①ドリルで四隅に穴をあける。
②小カッター又はノコでカットする。
③カット面を**面取り**

切り欠き

φ12㎜
①ドリルで角に穴をあける。
②小カッター又はノコでカットする。
③カット面を**面取り**

ご注意

右図のように**ピン角でカット**した場合、クラック発生の恐れがあります。

●右上図のような場合、切り欠きでなく複数枚を使用する割付けとしてください。

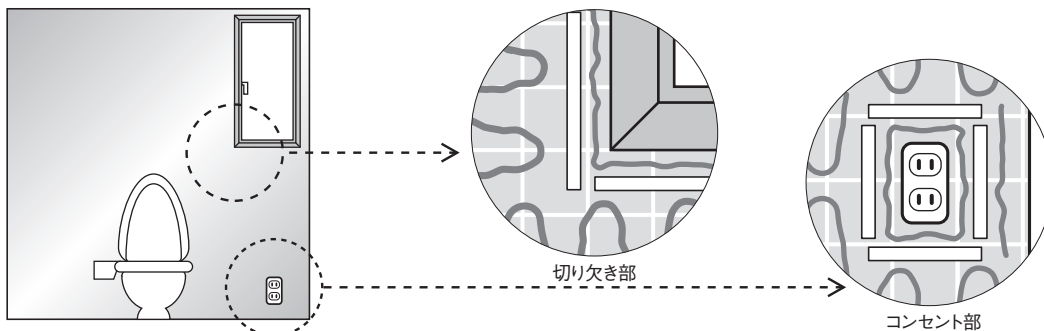
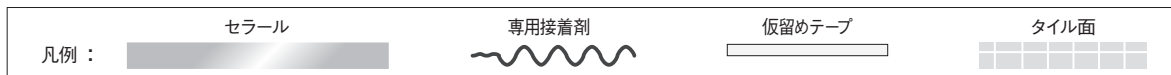
3 仮留めテープ貼付による不陸調整・専用接着剤塗布

下記の注意事項を遵守して、仮留めテープ貼付・専用接着剤塗布を行ってください。

仮留めテープ貼付の注意点

●貼付タイル面の端部に接着剤を塗布するための**スペース30㎜**をあけて、仮留めテープを貼付けてください。
●貼付面の中央部は仮留めテープが約300㎜ピッチ（上図）になるようにしてください。
●不陸の調整は1㎜厚及び3㎜厚の仮留めテープを重ねて行います。
例）2㎜不陸：1㎜厚+1㎜厚
　　4㎜不陸：1㎜厚+3㎜厚

専用接着剤塗布の注意点

●接着剤は**仮留めテープの貼付高さより3㎜以上高くなるように**塗布してください。
●貼付タイル面の**外周には必ず接着剤を塗布**してください。（外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります）
●貼付タイル面3×8サイズの面積に対して、専用接着剤は**2本/SE-1**が目安の塗布量です。（不陸2㎜基準。不陸が大きい場合、接着剤の使用量は多くなります。）
塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。
●接着剤塗布後**10分以内**に貼付け圧着してください。

〈専用接着剤使用時のご注意〉
不陸0〜5㎜未満→SE-1
ただし、不陸が5㎜以上の場合、気温が5℃以下の場合は**施工できません。**

【コーナー部分等の接着剤塗布パターン】

ご注意

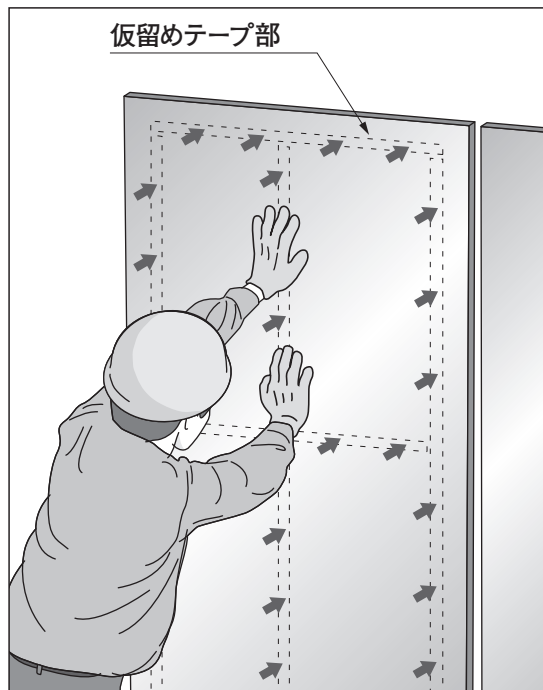
●開口部・切り欠き部は、仮留めテープ・接着剤により補強してください。

4 貼付・圧着

下記の注意事項を遵守して貼付・圧着を行ってください。

貼付時の注意点

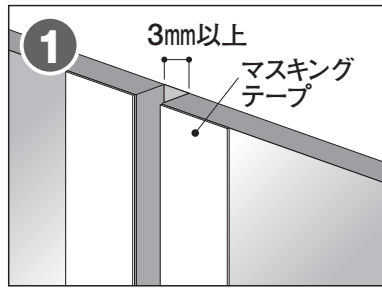
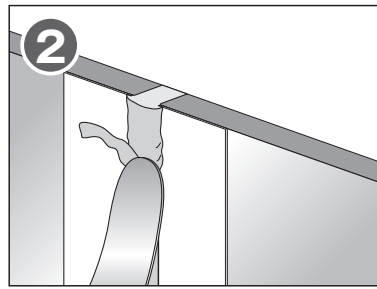
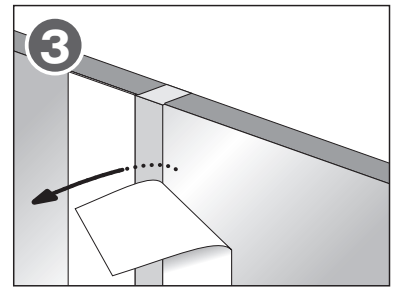
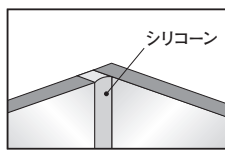
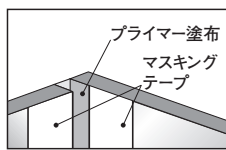
●セラールを貼付ける際に、中央部に**浮き**が発生しないように注意してください。**尚、貼付けは2人以上で行ってください。**又、貼付け時は開口部・切り欠き部に歪みが発生しないようにしてください（施工後のクラックの原因になる場合があります）。

※仮留めテープが壁面に一度接着すると、調整ができなくなります。

圧着する時の注意点

●**仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。**

※接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがありますのでご注意ください。

5 シーリング

下記の手順に従ってシーリングを行ってください。（シリコーン納まりの場合）

マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシリコーンを注入する。

ヘラなどを用いて、余分なシリコーンをかき取る。

マスキングテープを**ゆっくりと内側に**剥がす。

ご注意 入隅のシーリングについて

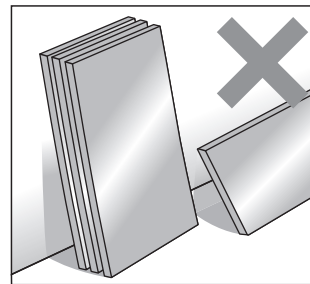
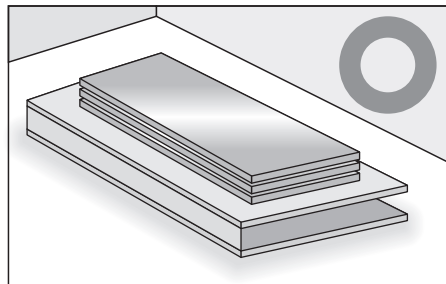
●セラールの表面はシリコーンの密着が悪い為、セラール表面にシリコーンを塗布する場合は必ずプライマー（JW-900N)を使用してください。

6 養生フィルム剥がし

2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

在庫・保管に関して

●在庫保管は直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。

●地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みしてください。
壁などに立てかけると、反りの原因になりますので、絶対におやめください。

その他の注意事項

平成12年施行の改正建築基準法により、不燃認定ラベルの貼付義務がなくなりました。

アイカ工業株式会社

化成品・化粧板・住器建材・電子製品

本　社／愛知県清須市西堀江2288番地
住器建材カンパニー　営業部

ホームページアドレス ／ http://www.aica.co.jp/

■代理店

支店	TEL	FAX
札幌	〈011〉811-9201	〈011〉812-2968
仙台	〈022〉232-3251	〈022〉235-1067
盛岡	〈019〉653-5591	〈019〉653-5419
福島	〈0248〉62-1420	〈0248〉62-1422
東京Ⓢ	〈03〉5912-2831	〈03〉5912-2837
埼玉	〈048〉601-2191	〈048〉601-2190
横浜	〈045〉640-1081	〈045〉640-1087
千葉	〈043〉241-2181	〈043〉241-2185
宇都宮	〈028〉346-1750	〈028〉346-1752
北関東	〈027〉322-8771	〈027〉327-2271
新潟	〈025〉245-8596	〈025〉245-8597
名古屋Ⓢ	〈052〉757-1052	〈052〉757-1059
静岡	〈054〉286-0451	〈054〉286-0453
金沢	〈076〉222-9600	〈076〉222-9608
大阪Ⓢ	〈06〉6265-6843	〈06〉6265-6844
神戸	〈078〉222-6341	〈078〉222-6326
京都	〈075〉284-0770	〈075〉284-0771
広島	〈082〉254-1311	〈082〉255-8817
岡山	〈086〉243-1327	〈086〉243-7508
四国	〈087〉851-9588	〈087〉851-9592
福岡	〈092〉584-5080	〈092〉584-5091
鹿児島	〈099〉226-7511	〈099〉226-7515

Ⓢ…常設ショールーム（スペースφ）

● 各種お問い合わせ先

アイカ コールセンター　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

〈0120〉525-100　TEL〈052〉409-8313　FAX〈052〉409-1482

● カタログ、サンプル帳のご請求先

アイカ カタログセンター　※営業日は、月～金（除く：土日祝休）です。当日出荷ご依頼分の受付時間はAM.12:00です。

TEL〈052〉409-1471　FAX〈052〉409-1526